

みんなのわ

発行日	令和3年 8月21日
編集者	会長 勝俣三郎
発行	御殿場市ボランティア連絡協議会
電話	0550-70-6801

～新時代のボランティア活動を考えて～

「地球は青かった」地球人が希望に満ちあふれ、未来に向かっていた1961年、今では誰もが地球は青く美しい星だということを知っていますが、それを初めておしえてくれたのが、人類初の宇宙飛行士ガガーリンです。

地球温暖化のせいでしょうか、この数年、繰り返し各地を襲う豪雨災害。7月3日には、熱海で人災とも言える土石流災害。依然収束の気配が見えない人類最大の敵、新型コロナウイルスとの戦いも4波、5波と繰り返し一向に解けない「緊急事態宣言」静岡県にも「緊急事態宣言」。収束への努力も虚しく2年になろうとしています。未だ先の見えない毎日が続き、世界が不安のどん底に立たされています。流れ来るニュースからは、医療崩壊寸前の現況、心から医療従事者の方々に感謝します。一方、ようやくワクチン接種が高齢者から始まり、人類が安心と平和を勝ち取る日も間近だと信じます。そして一年持ち越しの世界平和・希望の祭典「2020東京オリンピック・パラリンピック」もマイナス環境の中で開催され、日本中を湧かせてくれた選手・メダリストたちの輝かしい笑顔や涙ながらの感謝の言葉は私たちに大きな感動と元気を与えてくれました。

【たくさんの感動をありがとう】

私たちボランティア連絡協議会は、2011年東日本大震災から10年、毎年続けてきた被災地へ多くのボランティア活動に加え、社会福祉協議会主催の「ふれあい広場」で復興支援海産物の販売をしてきましたが、コロナ禍により思うように活動出来なくなりました。そこで活動に最初から参加下さった岩手県出身の方々にお願いし、復興支援活動として海産物「昆布・わかめ・茎わかめ」を取り寄せ、多くの会員関係者の方々にご協力を頂き、昨年末に続き、被災10年を機に今年3月と御殿場のお盆に合わせ2回の支援活動として、3月に470袋 7月に672袋 計1142袋と多大な支援をすることが出来ました。被災地からは、昨年からの新型コロナウイルス感染と二重の災害により復興が進んでいない現状のなか、丁寧なお礼の言葉が届きました。またご協力いただいた方々からは、「とてもうまかった。この次も協力したいから声を掛けて欲しい」と多く希望があり、引き続き支援活動を行っていきます。

コロナ禍のなか感染リスクの高い施設・団体の全てが行事の自粛・中止を余儀なくされて来ましたが、コロナ禍だからこそボランティアのニーズが高まるのではないかと思います。ボランティア連絡協議会は、「新時代のボランティア活動を考えて」惜しみない奉仕の世界を作り上げて参ります。

コロナ禍「緊急事態宣言・まん延防止等重点措置」収束の見通しが付かない今日、ボランティア連絡協議会は、万全のコロナ対策を心掛け一日も早いコロナ収束を願って例年通りの行事を予定しております。会員の皆様・市民の皆様には、くれぐれもお体に気を付けていただきまして、元気に交流の再会が出来ますよう心より願っております。健やかに過ごしてくださいませ。一時も早くコロナ禍以前の生活に戻れることを祈るばかりです。



2020東京オリンピック開会式

～要約筆記サークルさくらんぼ～

わたしたちは、難聴者、中途失聴難聴者、聞こえの不自由な方と要約筆記を通じて、コミュニケーション支援を行うサークルです。補聴器をしていても、体調や天候に左右され、聞こえにくい時があります。また、現在コロナ禍でマスクをしているため、人の表情や口元を見ることはできず、一層コミュニケーションが難しくなっています。

「要約筆記」とは、話の要点を文字にして伝える筆談のことです。社会参加と自立を支援し、また要約筆記制度の普及により、情報のバリアフリーを目指します。

「耳マーク」は、自身のきこえが不自由であることを表すマークであると同時に、このマークが提示されている場所ではきこえの不自由な人へ必要な配慮を行うというシンボルマークです。このマークの普及を願い、また配慮することの大切さを多くの人に知っていただくため、小山・御殿場地区の郵便局のご理解とご協力により、耳マークを置いていただくことになりました。



耳マーク



7月10日 きこえの相談室

通常のサークル活動は下記の通りです。

活動日：毎月第2土曜日 13:30～15:00
場 所：ふじざくら ボランティアビューロー

■連絡先：要約筆記サークルさくらんぼ
電話 0550-87-3834
【代表：井上晶子】

～社会福祉法人ふじの郷 さつき学園～

さつき学園は、静岡県で唯一の自閉症専門の障害者支援施設です。午前は体力作りを中心とした活動を行い、午後は利用者様の特性に合わせて班活動を行っています。作業はリサイクル班、園芸班、工芸班、園外班に別れており、リサイクル班では、潰したアルミ缶を三菱アルミに出荷という形で持っていき収益を得ています。園芸班は花苗や野菜を育て、テラスでの販売など好評を頂いております。工芸班ではビーズや織物製品を作成して、出来上がった製品を御殿場市民交流センター「ふじざくら」にて販売しています。園外班では施設で出たゴミの処理や段ボール回収を行い、施設内の環境美化活動に努めています。また、最近では自閉症理解を促進する活動もしております。今年度の4月には自閉症啓発デーの活動の一環として御殿場市社会福祉課様の御協力も得て、さつき学園の利用者様が作成したTシャツの展示アートを、樹空の森にて開催しました。開催期間中は予想以上に多くの方に来訪していただき、良い交流ができたように思います。

こういった活動を継続していきながら、利用者様にとって日々の生活の中から生きがいを感じていただけるよう、努めております。



連絡先 ■ 社会福祉法人ふじの郷 さつき学園
〒412-0033
御殿場市神山1925-322
電話 0550-87-1747
【担当：橋口・伊藤】

～御殿場市退職公務員連盟～

「御殿場市退職公務員連盟」は、この名のとおり、御殿場市在住の退職公務員（県職・市職・教職）によって構成されている団体です。現在、大正生まれの大先輩からこの春退職した若者（？）まで166人の会員があり、地域貢献や福利厚生や会員の健康・親睦などのために活動しています。

地域貢献活動としては「読み聞かせボランティア」・「愛のタオル一本運動」・ボランティア協議会の「クリーンアップ作戦」への参加などを行っています。新型コロナの影響で、「読み聞かせボランティア」は活動停止状態ですが、今回「ひだまり（ごてんば社協だより）」の表紙に取り上げていただいた「愛のタオル一本運動」は、継続して行っています。昨年も多くの会員の参加で、232本のタオルが集まり、市社会福祉協議会に贈呈することができました。ささやかな活動ですが、会員のすべてが、心を込めて参加することを目標に、今後も継続していきたいと思います。



連絡先 ■ 御殿場市退職公務員連盟

〒412-0006

御殿場市中畑2092-43

電話 0550-89-1392

【担当：岩瀬 次夫】

～社会福祉法人 ステップ・ワン～

社会福祉法人 ステップ・ワンは、就労継続支援B型の事業所です。

施設は、本部とゆめ農とグループホーム・市民交流センターでの喫茶業務があります。

利用者さんは、毎日、作業を通して少しでも多くの工賃を得るため頑張っています。主な作業は、「折り込み作業」・「水耕栽培によるリーフレタスの栽培」・「園芸作業」・「下請け」・「受託作業」・「市民交流センターでの喫茶業務」等です。

また、イベントが開けない時節柄、本部とゆめ農では第2・4水曜日に、市民交流センターの喫茶ほっとでは、第3水曜日に食べて元気を出そうの日と銘打ってテイクアウトを実施し、利用者も同じものを食べています。

ステップ・ワンでは、地域で困っている方がおられたら手を差し伸べ、少しでも良い毎日を送ることができるよう活動しております。そして、地域の一員としてますます皆様に愛されるよう「笑顔と感謝」の気持ちをもって、利用者・職員共々頑張っております。



連絡先 ■ 社会福祉法人 ステップ・ワン

〒412-0039

御殿場市竈1390-4

電話/FAX 0550-82-0980

【理事長：根上豊子】 【担当：渡邊大輔】

「クリーンアップ作戦」中止のお知らせ

10月3日（日）開催予定をしておりましたが、「クリーンアップ作戦」は新型コロナウイルス（デルタ株）感染拡大の影響により、今年度は見送らせていただくこととなりました。

8月21日（土）に御殿場市ボランティア連絡協議会全体会を実施し、市内で実施が予定されていた富士山一斉清掃等が中止になったこと、全国及び市内の感染拡大状況等を踏まえ協議した結果、「緊急事態宣言」が解除されていたとしても中止することを決定いたしました。何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

来年度は、コロナ感染も終息し、開催できることを折念いたします。日程等は決まり次第、改めてお知らせさせていただきますので、市民の皆様のご参加をお待ちしております。

新規加盟団体紹介

～社会福祉協議会福祉車両 運転ボランティアの会「たんぽぽ」～

平成8年にライオンズクラブより車椅子用軽自動車が社会福祉協議会に寄付されたことから始まり、需要が多くなり、運転ボランティア連絡会を開催し平成15年4月、外出支援を目的に「運転ボランティアの会たんぽぽ」が発足しました。

現在、3台の福祉車両で毎月、歩行困難な方を対象に毎月40件から50件、通院等に56名のボランティアで応じております。

ボランティアは、随時募集しておりますので希望される方は社会福祉協議会へお申込みください。

運転ボランティアの会「たんぽぽ」会長 早川孝一



～ほくくばらみんなで支える移動支援プロジェクトの会～

北久原みんなで支える移動支援プロジェクトの会は令和2年9月試行運転からはじめ、毎週木曜日またはすこやかカメサンデーに買い物支援を実施しています。

運転手5名、付き添い1名のボランティア計6名で構成しています。財政的には北久原区の下部組織として、また、さわやか財団から援助をいただいています。

利用登録者数は移動手段のない1～2人暮らしの高齢者で現在13名、利用者は毎回7名程度となっています。約1年たちますが、延べ200名ほどが利用しています。

ほくくばらみんなで支える移動支援プロジェクトの会 事務局長 大窪民主



編集後記

今回の編集担当は「要約筆記サークルさくらんぼ」、「社会福祉法人ふじの郷 さつき学園」、「御殿場市退職公務員連盟」、「社会福祉法人 ステップ・ワン」でした。お問合わせ、ご意見等は、御殿場市ボランティア連絡協議会事務局までお願いいたします。

事務局 ■〒412-0042 御殿場市萩原 988-1 御殿場市民交流センター「ふじざくら」内
社会福祉法人 御殿場市社会福祉協議会 ☎ 0550-70-6801 Fax 0550-89-5501